

質問

0/その2

農林業の振興策は



宮田 和也 議員

農業振興は

宮田 本町における農林業の現状は疲弊し、振興策はなかなか見当たりません。七月に機構改革と人事異動を考えておられる様だが、農業振興に役立つことを考えてはどうか。町長 農林業振興の将来の方向性と目標を明確にせよとの事でありますが、本町は中山間地域であり、いわゆる過疎地域です。

高齢化と農林業そのものを継承する後継者が少ないのと、収益や所得に結びつかなく、衰退の一途をたどりつつあると思っております。

安心・安全の農業生産を町内で消費する、地産地消を積極的に推進することが必要です。

一定の消費をすることにより安定的な生産につながり、この中から金持米や沢方二、ホンモロコといった第二・第三の特産品が生まれることにつながることが期待しているところです。

和牛の振興策は

宮田 和牛の振興策は、久住放牧場の有効活用をするため

に、費用対効果の面からみて、検討すべきではないか。町長 現在JA鳥取西部農協に管理をお願いしていますが、一億円からの投資をして造った放牧場でありませんが、利用者は少なく有効活用されているとは思っていません。

造成は町でしたが、補助率もいいし、有利な過疎債の対象にもなりました。

町内の和牛飼育農家の要望で造ったものでなかったため、和牛振興にむすびつかなかったのではないかと理解しております。

遊休農地対策

宮田 遊休農地、耕作放棄地の対策は。遊休農地、耕作放棄地の現状と今後の見通しについて、どのように考えておられるのか。

町長 中山間地の農地は造成に多くの資金をつぎ込んでいますが、高齢化と過疎化の進



期待されるブロッコリーの栽培

展で、遊休農地、耕作放棄地は年々増加しています。国政の一環として農業の方向性を明確にし、農地法を整備し、農業振興に役立つ様にしていただきたいと思えます。農業振興地域の見直しについては、農業委員会とも連絡をとりながら検討します。なお、農業委員会から提案された建議書、要望書の扱いについては、十分検討して対応したいと思っております。

21日	第3回町議会定例会 議会広報調査特別委員会
25日	第3回町議会定例会 議会広報調査特別委員会
27日	日野病院組合議会臨時会
28日	黒坂保育所卒園式・閉所式
4月	
3日	議会広報調査特別委員会
4日	西部議長会連絡会議
6日	消防出初式
8日	小学校入学式
10日	中学校入学式 例月出納検査
15日	郡議長会連絡会議
16日	議会広報調査特別委員会
18日	おしどり学園開講式
19日	議会広報調査特別委員会
22日	県監査委員協議会定期総会及び研修会
23日	町人権同和教育推進協議会総会・研修会
5月	
1日	議会広報調査特別委員会